

神海丸便り

令和7年11月12日

三崎港での実習の様子

神海丸は三崎港での水揚げを終えて現在停泊中です。今日はそれぞれコースに分かれて停泊中にしかできない実習を行いましたのでご報告します。

○非常操舵実習

海洋テクノコース、専攻科漁業科の生徒は航海中にトラブルで舵が動かなくなった時に舵機室で直接舵を操作する実習を行いました。船橋からの指示を船内電話で受けて舵を操作している様子です。



○主機燃料噴射弁交換

エンジニアコース、専攻科機関科の生徒は神海丸のエンジンの整備を行いました。航海中は常に動いているため、なかなか見られない部分も直に確認することで、機関の構造に関する理解を深めました。また、整備手順についても学びました。



停泊中、太平洋のまぐろ類を研究されている研究員の方が訪船され、乗組員から神海丸の実習で行った調査のデータをお渡ししました。

神海丸のデータは資源評価などに活用いただいています。